

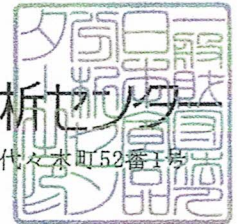
## 試験報告書 (副)

依頼者

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体

:100ppm

表 題 アレルゲン不活化試験

年(平成 年) 月 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## アレルギー不活化試験

### 1 依頼者

### 2 検 体

: 100ppm

### 3 試験概要

検体にアレルギー溶液を添加，混合し(以下「試験液」という。)，所定時間後に試験液中のアレルギー濃度をELISA法により測定した。また，あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い，検体の影響を受けずにアレルギー濃度を測定できる条件を確認した。

### 4 試験結果

結果を表-1に，試験条件を表-2に示した。

なお，試験液をスギアレルギーはELISAキット付属の緩衝液，ダニアレルギーは1%ウシ血清アルブミン及び0.05%ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水で希釈することにより，検体の影響を受けずにアレルギー濃度の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液のアレルギー濃度測定結果

試験 アレルギー	対 象	アレルギー濃度 (ng/mL)			
		開始時	5分後	15分後	30分後
スギ アレルギー	検 体	—	<1.6	<1.6	<1.6
	対照(精製水)	380	—	—	370
ダニ アレルギー	検 体	—	<0.6	<0.6	<0.6
	対照(精製水)	100	—	—	100

<0.6及び<1.6：検出せず

保存温度：室温

表-2 試験条件

試験アレルゲン	スギアレルゲン：精製スギ花粉抗原Cryj1[株式会社 林原] ダニアレルゲン：精製ダニ抗原Derf1[INDOOR biotechnologies LTD.]
アレルゲン溶液	スギアレルゲン 調製溶液：0.05 %ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：25 $\mu\text{g}/\text{mL}$ (理論値)
	ダニアレルゲン 調製溶液：0.05 %ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：10 $\mu\text{g}/\text{mL}$ (理論値)
試験液	検体1 mLにアレルゲン溶液10 $\mu\text{L}$ を添加
保存条件	5分, 15分, 30分(室温)
中和条件	スギアレルゲン：ELISAキット付属の緩衝液で2倍希釈 ダニアレルゲン：1 %ウシ血清アルブミン及び0.05 %ポリソルベート20 (Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水で2倍希釈
対照	精製水
ELISA 測定	スギアレルゲン：レビス Cryj1 ELISA Kit [富士フイルムワコーシバヤギ株式会社] ダニアレルゲン：Derf1 ELISA kit(6A8/4C1) [INDOOR biotechnologies LTD.]

以 上